

所属 総合文化コース	職名 教授	氏名 中井 幸比古	大学院における研究指導担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年月日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)					
		2006年4月～2019年3月	①毎時間、講義のためのプリント・復習教材を作成し、授業の要点がわかりやすくなるように配慮した。 ②種々の録音資料を学生に聞いてもらい、多様な音声の実態を伝えるとともに、調音音声学の基礎を固めるべく努めた。また、音声分析ソフトによる研究方法を紹介した。		
2 作成した教科書、教材、参考書					
		2006～2019年3月	講義のための授業プリントに加え、下記『音声研究入門』(2005)・『はじめて学ぶ日本語学』(2011)・『日本語アクセント入門』(2012)の執筆箇所、「日本語アクセントの三つの問題」『神戸外大論叢』65-1(2015)などを用いて、日本語の音声・アクセントなどに関する授業を行った。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・共 著の別	発行または発表の年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
「列島縦断! 日本全国イチオシ方言 京都府」	単著	2014年5月	『日本語学』2014年5月号		70-71
「近畿地方の方言」	単著	2014年11月	『日本語大事典』朝倉書店		項目執筆
「近畿・四国の昔語りの言語特徴－1 拍語・無声化・のだー」	単著	2015年2月	『「アジアにおける自然と文化の重層的関係の歴史的解明」最終年度成果報告書』		13-18
「日本語アクセントに関する 3 つの問題－音調意識、アクセント規則の有効性、類別語彙－」	単著	2015年3月	『神戸外大論叢』65-1		3-30
「上方ことばと江戸ことば」「お国ことば」「ラジオ・テレビと標準語」	単著	2016年1月	『日本文化事典』丸善		92-93、94-95、116-117
『小豆島諸方言のアクセント資料』	共著	2017年3月	徳島大学	◎中井幸比古、岸江信介、 峪口有香子、島田治	11-134

「京都弁の癖」	単著	2018年1月	『日本語学』2018年1月号	26-36
宮崎県西臼杵郡高千穂町岩戸方言について－四つ仮名を中心に－	単著	2018年04月	神戸外大論叢, 68(2)	93-110
近世以降の「西陣」の地理・地名をめぐって	単著	2018年07月	京都地名研究会第49回地名フォーラム	口頭発表
「各地の方言：近畿」	単著	2018年10月	『日本語学大辞典』東京堂出版	851-852
「国語辞典の意味記述をめぐって－着尺・御召・緋について－」	単著	2019年3月	『方言・音声研究』11号	67-81
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
～現在	日本語学会会員・2009年6月～2012年5月編集委員			
～現在	日本音声学会会員			
～現在	日本語教育学会会員			
～現在	日本言語学会会員			
～現在	社会言語科学会会員			